

4章 外壁改修工事

4.6.5
工

法

(3) 防水形外装薄塗材Eは、次による。

分 類	S K K 該 当 製 品
防水形外装薄塗材E	ニュートップレスクリーン、セラミッククリーン ニュートップレスクリーンタイル、セラミック クリーンタイル

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の下塗材の場合は、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるよう行う。

(イ) 下塗りは、だれ、塗残しのないように均一に塗り付ける。

(ウ) 増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口部回り等にはけ又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付ける。

(エ) 主材塗りは、次による。

(a) 基層塗りは、だれ、ピンホール、塗残しのないよう下地を覆うように均一に塗り付ける。

(b) 模様塗りは、次による。

① 吹付けの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。

② ローラー塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

4章 外壁改修工事

防水形外装薄塗材E (ゆず肌状/ローラー塗り)

ニュートップレスクリーン (多機能型)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
薄付け 仕上塗材	防水形 外装薄塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3,4	ニュートップレスクリーン★	0.7~1.0	1
				主材基層	ニュートップレスクリーン★	1.0~1.2	1~2
				主材模様(注)5	ニュートップレスクリーン★	0.4~0.5	1~2

セラミクリーン (低汚染・高耐久)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
薄付け 仕上塗材	防水形 外装薄塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3,4	セラミクリーン★	0.7~1.0	1
				主材基層	セラミクリーン★	1.0~1.2	1~2
				主材模様(注)5	セラミクリーン★	0.4~0.5	1~2

(注)1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。

2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。

3. 増し塗りとは、出隅、入隅、目地部、開口部回り等に、はけ又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付けることです。

4. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。

5. 所要量は、仕上がりに応じて、標準所要量の範囲内で適時設定してください。

6. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

7. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

4章 外壁改修工事

防水形外装薄塗材E(凹凸状/吹付け)

ニュートップレスクリンタイトイル(多機能型)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量(kg/m ²)	塗り回数
薄付け 仕上塗材	防水形 外装薄塗材E	凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3,4	ニュートップレスクリンタイトイル★	0.7~1.0	1
				主材基層	ニュートップレスクリンタイトイル★	1.0~1.2	1~2
				主材模様(注)5	ニュートップレスクリンタイトイル★	0.6~1.0	1

セラミクリーンタイトイル(低汚染・高耐久)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量(kg/m ²)	塗り回数
薄付け 仕上塗材	防水形 外装薄塗材E	凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3,4	セラミクリーンタイトイル★	0.7~1.0	1
				主材基層	セラミクリーンタイトイル★	1.0~1.2	1~2
				主材模様(注)5	セラミクリーンタイトイル★	0.6~1.0	1

- (注)1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
3. 増し塗りとは、出隅、入隅、目地部、開口部回り等に、はけ又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付けることです。
4. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
5. 所要量は、仕上がりに応じて、標準所要量の範囲内で適時設定してください。
6. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
7. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

使用可能な下地調整塗材

下地	下地調整塗材	SKK該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	-
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	-
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	-
モルタル、プラスター	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ミラクシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	水性ミラクシーラーエコ★	-
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	-
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注)1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
3. 備考欄が「-」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。